

# 知って 医療知識と健康生活習慣

## 消化器について⑤

### 肝細胞がんで知っておきたいこと

千秋病院 消化器内科 藤本 正夫



日本では毎年多くの方が肝がんで亡くなっています。2024年の原発性肝がんによる死亡者数は2万2465人で、このうち男性は女性の約2・1倍にのぼります。

#### 慢性肝疾患に注意

肝臓がんによる死亡率は近年、ゆるやかに低下しています。その背景には、肝炎ウイルスに対する治療の進歩と、肝細胞がんの定期検査（サーベランス）の普及が大きくなっています。

肝臓がんの多くは、慢性肝炎や肝硬変などの慢性肝疾患を土台として発生します。慢性肝疾患の原因としては、これまでC型肝炎ウイルスやB型肝炎ウイルスが中心でしたが、近年は生活習慣と関連する代謝異常関連脂肪肝炎（MAFLD）やアルコール性肝障害などが増加し、いわゆる「非B非C型」の肝がんが増えていきます。

肝臓がんの早期発見には、血液検査（腫瘍マーカー）と腹部超音波検査が基本です。日本ではB型・C型肝炎や肝硬変の方はハイリスク群

として定期的な検査が推奨され、とくに肝硬変の方は3〜4か月ごとの検査が望ましいとされています。

肝がん予防の鍵は、造影剤による腫瘍の特徴的な写り方（血流パターン）が重要です。造影CT、造影MRI、血管造影とCTの併用（CTAP/CTHA）が行われます。鑑別としては、限局性結節性過形成、血管腫、肝細胞腺腫、炎症性偽腫瘍、肝内胆管がんなどがあげられます。また、血液検査で腫瘍マーカー（AFP、PIVKA-II）も有用です。

治療法は、外科手術、肝移植、焼灼療法、血管塞栓療法、薬物療法（免疫療法を含む）、放射線治療など多岐にわたります。

腫瘍の進行度や肝臓の残された働き（肝予備能）を踏まえて選択されます。

肝がん予防の鍵は、肝がんで命を落とさないための鍵は3つです。

- ①慢性肝疾患を早く見つけて治療すること
- ②定期的な検査で肝がんを早期に見つけること
- ③状態に応じた適切な治療を受けること

もし健康診断で肝機能異常を指摘されたら、放置せずに一度内科を受診してください。肝細胞がんの原因となる「慢性肝疾患」については、次の機会にお伝えします。

## 子どもの健康⑤

### 夏風邪に気をつけましょう

千秋病院 小児科 矢嶋 たえ子



夏になると、手足口病やヘルパンギーナなどの「夏風邪」が流行する季節になります。保育園や幼稚園などで集団発生することもあり、多くのお子さんが感染します。

#### ◇

手足口病は、その名のとおり手のひらや足の裏、口の中に発疹がでる病気です。発熱は軽いことが多いものの、口の

中の痛みで食事や水分を嫌がる場合があります。ヘルパンギーナは突然の高熱で始まり、のどの奥に小さな水ぶくれができるため、強いほどの痛みを伴います。どちらもウイルスによる感染症で、

特效薬はなく、症状に合わせた治療が中心となります。家庭では、無理に食事をとらせる必要はありません。

一方、オレンジジュースなど酸味の強い飲み物や、塩分の強いスナック菓子は口内の痛みを強く感じることがあるため

注意が必要です。熱い食べ物や刺激の強い食べ物も避けた方がいいでしょう。

登校できることがほとんどです。

多くの場合は数日から1週間程度で自然に回復します。しかし、水分がとれない場合や元気がない場合、高熱が続く場合には医療機関を受診してください。

これから夏風邪の季節を迎えますが、慌てずにお子さんの様子を観察しながら対応していきましょう。

（次号に続く）

## 介護職員募集

問い合わせ先 0564-760003

## ひとやすみサロン 開催しました!

「次回は7/17(金)」

介護事業部 介護支援専門員 村井 真奈美



場所は千秋病院売店ひとやすみ前です

5月15日に初めてひとやすみサロンを開催し、11名の方に来所いただきました。最初は誰も来ないのではないかと不安でしたが、「友の会ニュースを見て楽しみに来ましたが、と来所してくださった方もいて、とてもうれしく思いました。

始めてくれたんだね」と、全体的に好評でした。「これから暑くなるから水分補給にいいね」とも言っていただけでしたが、月に1回で申し訳ない気持ちになりました。今後もご意見をうかがい、皆さんに喜んでもらえるように改善していきます。

毎月第3金曜日の10時から12時開催です。無料のドリンクをご用意しています。介護相談も受け付けておりますので気軽にご利用ください。何度来ても無料です。楽しいひとやすみの時間にしましょう。

## 第57次辺野古支援・連帯行動を終えて

### 【前編】

医療サービス課 西川 拓臣

5月21日から23日の3日間、沖縄県の本島を縦断するかたちで辺野古連帯支援行動に参加しました。2回に分けて報告します。

#### 沖縄の現実を実感

ニュースや新聞などで

辺野古の話題は耳にすることはあっても正直、テレビの中のこのよう

現実を知らないでいたので、とても興味がありました。

過去に修学旅行で沖縄に来たことがありますが、実際沖縄に着き視察が始まると、その時

今年には沖縄本土復帰から54年ですが、米軍の支配下に置かれたままなのは変わりがなく、むしろ支配力を強めようとしている気がしてなりません。

（次号に続く）



米軍基地普天間飛行場のオスプレイ